

小児外科だより

令和元年 冬号



～診療のトピックス～

その便秘大丈夫ですか？（たかが便秘、されど便秘！）

小児の便秘症はよくある日常疾患の一つですが、排便時の苦痛や肛門出血、便失禁や便漏れを伴う場合は要注意です。このような症状が出た場合は便塊による便塞栓に陥っている可能性があります。経口薬や浣腸のみでは便塊除去が困難なため、オリーブオイル注腸やガストログラフィン注腸で便塊をほぐします。またかなり重症例では全身麻酔下に洗腸・摘便を行うこともあります。ただし、このような重症便秘症の中には重大な外科疾患が隠れている可能性があります。ヒルシュスプルング病や鎖肛（直腸肛門奇形）です。

鎖肛の病型によっては、一見正常に見える肛門もわずかに位置の前方偏位があるだけのものもあり、なかなか診断に至らずに経過観察となっている症例もあります。

当科では重症便秘患児を積極的に受け入れております。またヒルシュスプルング病や鎖肛に対して、**腹腔鏡手術を併用して傷の小さな低侵襲手術**を行っており、是非お気軽にご紹介ください。



肛門括約筋内に瘻孔を認めた直腸肛門奇形の1例
小児科診療, 2018年, 5号
※矢印は正常肛門位置

甲南やまゆりクリニックでは

- ✓ 兵庫医科大学 小児外科と連携して、小児の外科疾患の診療を行っています。
- ✓ 重症心身障がい児の在宅医療にも力を入れており、栄養に関するご相談や胃瘻、逆流防止手術、誤嚥防止手術などの適応に関するご相談も承っております。
- ✓ 手術が必要な場合は、甲南やまゆりクリニックで兵庫医科大学の手術予約ができます。
- ✓ 手術前は、検査と入院申し込みで兵庫医科大学を一回受診していただくだけです。
- ✓ 一時間以内の簡単な手術は、日帰り手術を行っています。
- ✓ 手術後のフォローも、甲南やまゆりクリニックで行います。
- ✓ 手術では、腹腔鏡・胸腔鏡手術だけでなく臍創部だけで操作を完遂する手術など、整容性や低侵襲性にとことんこだわっております。
- ✓ その他、お悩みの症例がございましたらお気軽にご相談いただきますようお願い申し上げます。